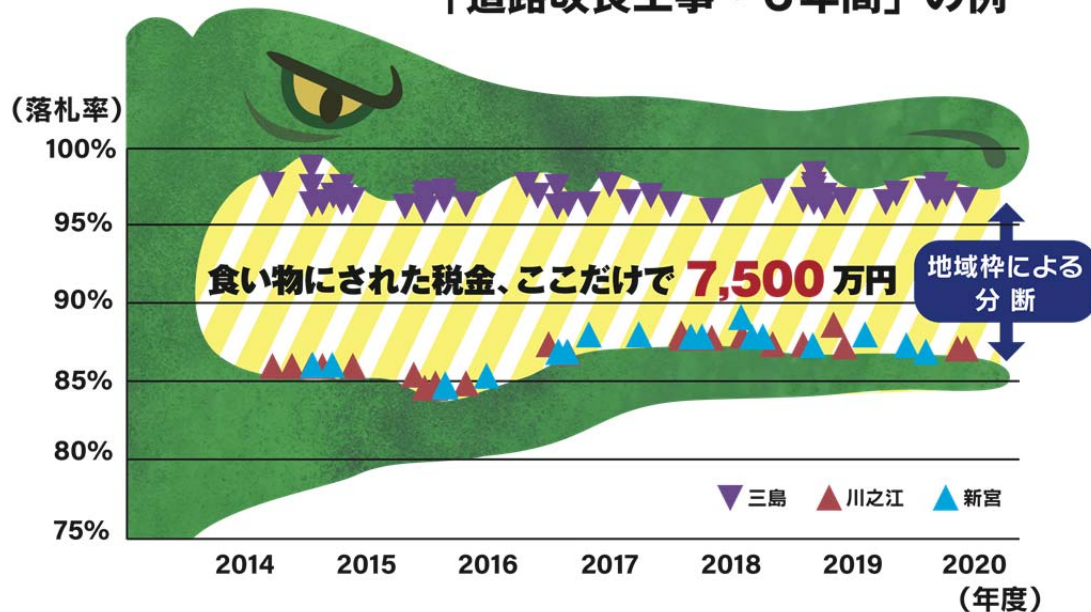


愛媛県・四国中央市 「地域枠」による競争阻害

井川 孝志／弁護士 荒木晋之介

ワニの口はなぜ開いているのでしょうか？

「道路改良工事・6年間」の例



三島地域と川之江・新宮地域の落札率の差10.3%・・・地域枠がなければ落札はすべて下顎に集束され、鱷の口は閉じられたはず。

(下顎)

川之江・新宮地域・・・下限(最低制限価格)ギリギリの落札

「正直者がバカを見る。」地域枠がなければすべての工事を落札したはず。三島・土居地域の飽食を見ながら、川之江・新宮地域はやせ細っています。1社入札が増え、近い将来正直者が消える恐れがあります。

(上顎)

三島・土居地域・・・上限(予定価格)に近い落札

1 諸悪の根源「地域枠」とは

四国中央市にはいわゆる「地域枠」というおかしい入札制度があります。制度自体もおかしいのですが、明文化された資料がないのも不思議です。

「地域枠」は全く有害無益な制度です。

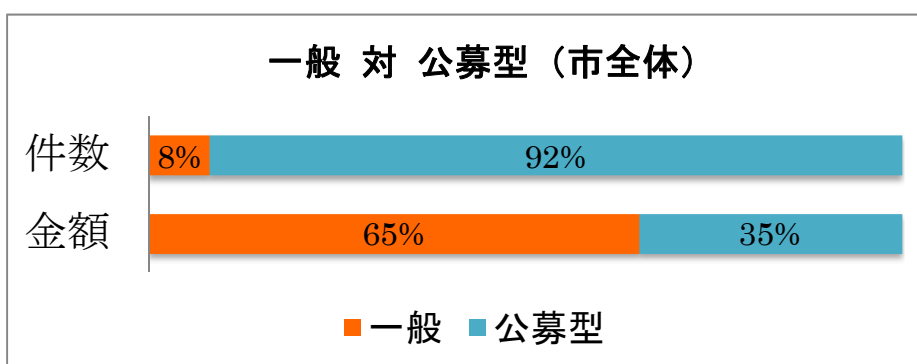
人口(83,784人 2022年7月31日現在)・業者数とも少ない四国中央市で、

狭い市内を「川之江・新宮」と「三島」と「土居」の3つの地域に分け、その地域の業者しか入札に参加させないことで、競争を阻害する入札制度です。



「地域枠」は、入札実施要綱上「公募型指名競争入札」だけが対象になっていますが、実際はその裏に隠されている「一般競争入札」を含む全入札に及び、恐ろしい損害を出しています。

「一般」対「公募型」の力関係（6年間・281億円）



件数では9割以上「公募型指名競争入札」ですが、金額では「一般競争入札」が2/3を占めます（上図参照）。

2 その結果起こる「地域枠」の弊害

市内は、一部の競争地区と大部分の競争阻害地区に分かれます。

競争が残っているのは、川之江地区の土木分野だけで、それ以外の地域・分野では、競争が著しく阻害されています。

計算上ですが、もし全入札が川之江地区の土木分野並みの落札率であれば、6年間で最大20億円（ワニの口の中）落札金額が下がった可能性があります。

ほとんどの入札で非常に高い落札率で落札されるために、おびただしい額の市の税金が無駄遣いされています。

3 住民監査請求と住民訴訟の提起

本年6月3日付で市に住民監査請求書を提出しました。市の公募型指名競争入札において、「地域枠」制度がとられているため、入札の競争性が大いに阻害されており、令和3年度に生じた約7,589万円（消費税込み）の損害（落札金額と最低制限価格の差額）を、市長及び業者に対して請求することなどを求めるものでした。

ところが、市の監査委員は、落札率が95%以上であることのみをもって、本市の入札に談合あるいはその疑いがあるとは認められない、旧市町村区域での地域要件を設定することは十分合理的である、他の地方公共団体の設定する地域枠と比べ、明らかに競争性が働かない仕組みとなっていると断言する根拠がない、1社入札でも有効である、などとして、本市の公募型指名競争入札は法令等に基づき適正に執行されており、市長に裁量権の逸脱又は濫用はなく、請負契約を違法無効とする理由もないと判断し、本年7月29日付で請求を棄却しました。

そこで、原告らは8月23日、松山地裁に提訴しました。求めている内容は被告・四国中央市長に対して

四国中央市長篠原実に対し、75,894,679円及びこれに対する訴状送達の日から支払済みまで年3分の割合による金員を支払うよう請求すること

各業者（34業者）に対し、「請求額（消費税込）」欄記載の金額（落札金額と最低制限価格の差額に消費税を加えた金額）及びこれに対する訴状送達の日から支払済みまで年3分の割合による金員を支払うよう請求すること
です。

4 ありませんか？ あなたのまちにも「地域枠」

いわゆる「地域要件」として、業者の所在地を入札の際に考慮する制度は、全国各地にあります。しかし、四国中央市のように1つの市を旧市町村区域に細分化して、その地域の業者しか入札に参加できない「地域枠」という制度を設けている自治体は珍しいと思います。そのため、我々は、他の地方公共団体の設定する「地域要件」と比べ、明らかに競争性が働かない仕組みとなっていると断言する根拠はあると考えています。

たとえば、愛媛県松山市の図1の工事ではきちんと競争が働いています。

そこで、原告ら及び弁護団は、各地の地域要件について全国アンケートを実施したいと考えています。

図1 2021年度 便所改修工事37件（上顎と下顎の差 7.6%）

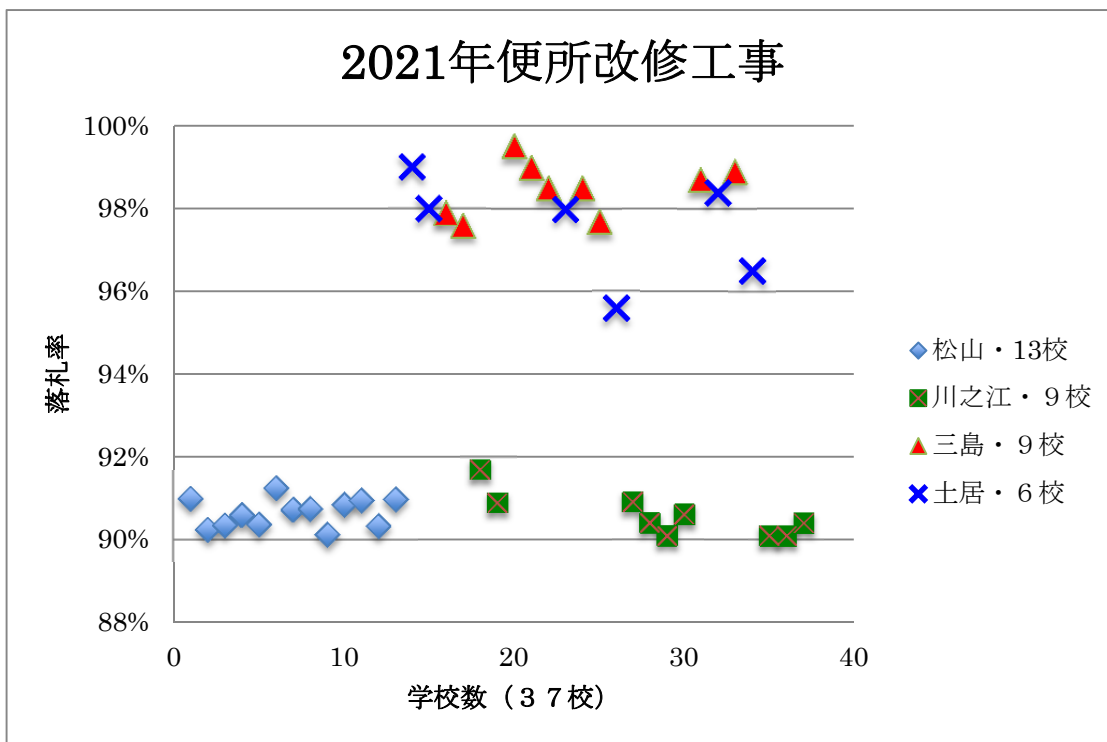


表5、便所改修工事

地域	件数	落札額計	落札率・加重平均	上乗せ利益
松山	13	236,069,738	90.7%	176,506
川之江	9	163,780,820	90.6%	490,185
三島	9	169,690,000	98.5%	13,976,073
土居	6	74,550,000	97.6%	5,879,235

「川之江・松山」地域と「三島・土居」地域の落札率の差、7.6%

この資料の内容は、2021年1月に公開した【談合ゼロ】サイトに詳しく書いています。ぜひご覧ください。【談合ゼロ】サイトは6年間（2014～2019）の市の入札状況をまとめたサイトです。（その後少し時間が経ちましたので、更新予定です。）・・・【談合ゼロ】で検索してください。



以上